

## シニアネットワーク東北 平成 29 年度活動計画

2011年3月東日本大震災と原子力発電所の事故以来再稼働した原子力発電所は数基に過ぎず僅かである。2014年4月に内閣は第4次エネルギー基本計画を決定した。2015年7月16日に経済産業省は長期エネルギー需給見通しを提示した。

原子力発電所の安全性は世界最高水準と称する規制基準を導入したが、安定供給に関しては原子炉停止によりエネルギー自給率が6%まで下がり、自給率はOECD34カ国中最低レベルの危機的な状況が6年間も続き、原子炉停止や再エネFITにより経営環境の悪化と電気料金の上昇が産業競争力を低下させ経済成長の足かせとなっている。現在も規制委員会による再稼働の審査は遅々として進まず、活断層問題や地方裁判所の判決による遅延や、マスコミのネガティブな報道と風評が原子力に対するマイナスの世論を形成し、エネルギー供給とセキュリティや温室効果ガス削減の切り札である健全な原子力の利用を阻害している。

シニアネットワーク東北は、地域社会および家庭内のオピニオンリーダーとなる大学生や高専生、および一般の人々との対話活動を重ねて、わが国のエネルギー問題、放射線に対する啓蒙のための活動を行ってきており、今後ともこの活動を継続、強化する方針である。

このため、シニアネットワーク東北は国の施策、自治体の動向、住民意識も勘案しながら今後の対話活動について計画を練り、次の実施項目を基本に東北エネルギー懇談会および原子力学会シニアネットワーク連絡会と連携して推進する。

1. 定期総会 平成 29 年 6 月 8 日(木)開催
2. 対話活動
  - 東北電力新入社員との対話 5 月 25 日(木)実施
  - 大学、高専、一般市民等との対話（対話先との調整により適宜開催）
  - 新規対話先の開拓（宮城教育大学、石巻専修大学など）
3. 拡大幹事会
  - 原則毎月第 4 月曜日開催
4. S N W 連絡会運営委員会
  - 定例会等への参加
5. 各種講演会、シンポジウム、見学会、勉強会等
  - 前年同様適宜実施：地層処分研究施設、女川原子力発電所の見学会など
6. 提言活動・P R 活動
  - HP・インターネット等の活用
  - ネット会員の募集と情報の提供
  - 日本原燃エコスクール（放射線基礎講座、エネルギー講座）、アスパムエネルギー館主催セミナー等へ講師派遣

以上